



2012年3月期決算説明会

2012年6月1日

リバーエレクトック株式会社

アジェンダ

-
- ・ 2012年 3 月期 決算概要

取締役総務本部長
高保 譲治

- ・ 2013年 3 月期 通期業績予想及び背景

代表取締役社長
若尾 富士男

- ・ 2013年 3 月期の重点施策
-

2012年3月期 決算概要



(百万円)	2011年3月期	2012年3月期			
	実 績	実 績	対前年 増減額	対前年 増減率	修正計画 (2011/11/09)
売上高	5,813	5,486	▲ 326	▲ 5.6%	5,729
売上原価	4,450	4,290	▲ 160	▲ 3.6%	
販管費	1,254	1,274	19	1.6%	
営業利益	107	▲77	▲ 185	—	36
経常利益	110	▲ 105	▲ 216	—	48
当期純利益	90	▲ 201	▲ 292	—	▲30

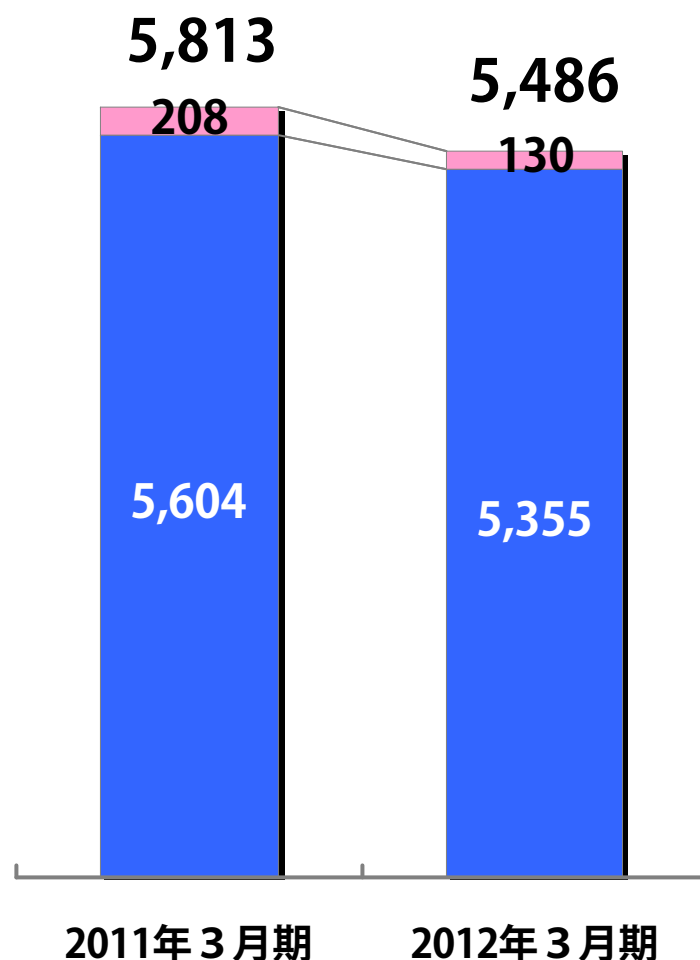
為替レート

USドル	81.49円	77.74円	▲3.75円	—	81.00円
------	--------	--------	--------	---	--------

2012年3月期 売上高変動要因

(百万円)

■ 水晶製品
■ その他の電子部品



対前年度増減額：▲326百万円

主な増加要因

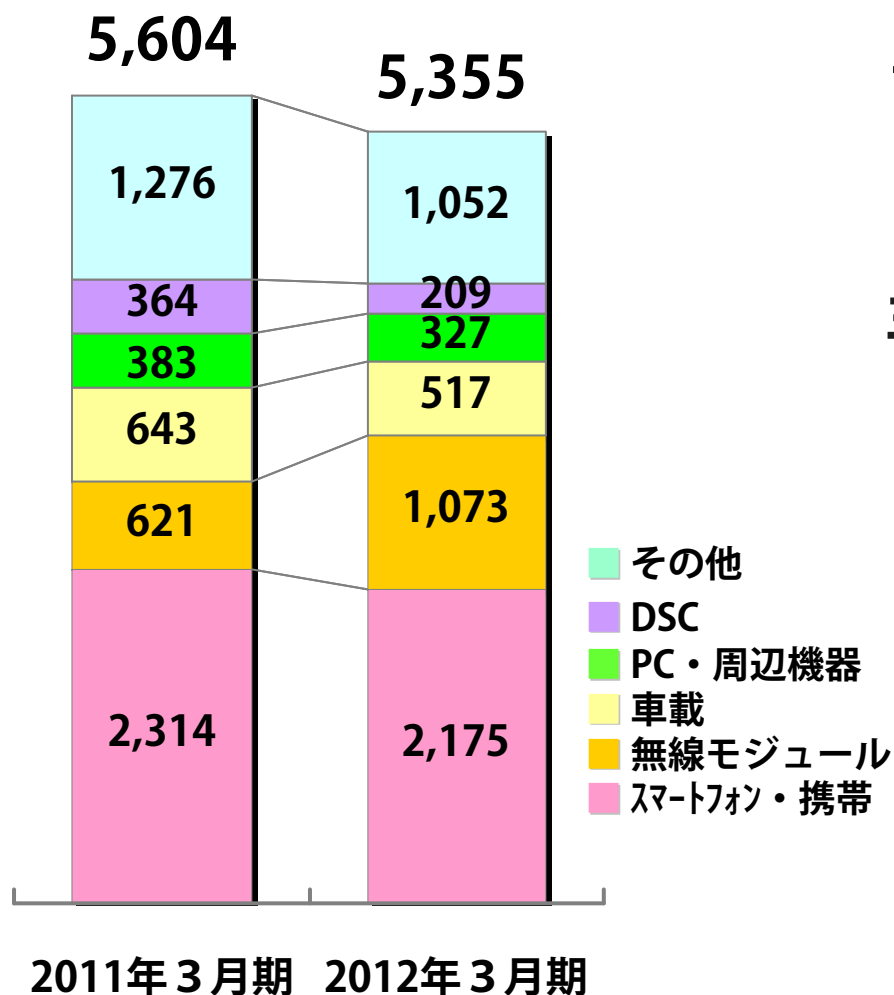
- 水晶製品/無線モジュール向け
(主にスマートフォン向け) +451百万円

主な減少要因

- 水晶製品/DSC向け ▲155百万円
- 水晶製品/スマートフォン・携帯電話向け
▲138百万円
- 水晶製品/車載向け ▲126百万円
- その他の電子部品 事業縮小に伴い、
▲78百万円 (販売数量▲45%)

水晶製品アプリケーション別売上高

(百万円)



主な増加要因

- 無線モジュール（主にスマートフォン）
向けの受注が大幅増加し、前期比+72.6%

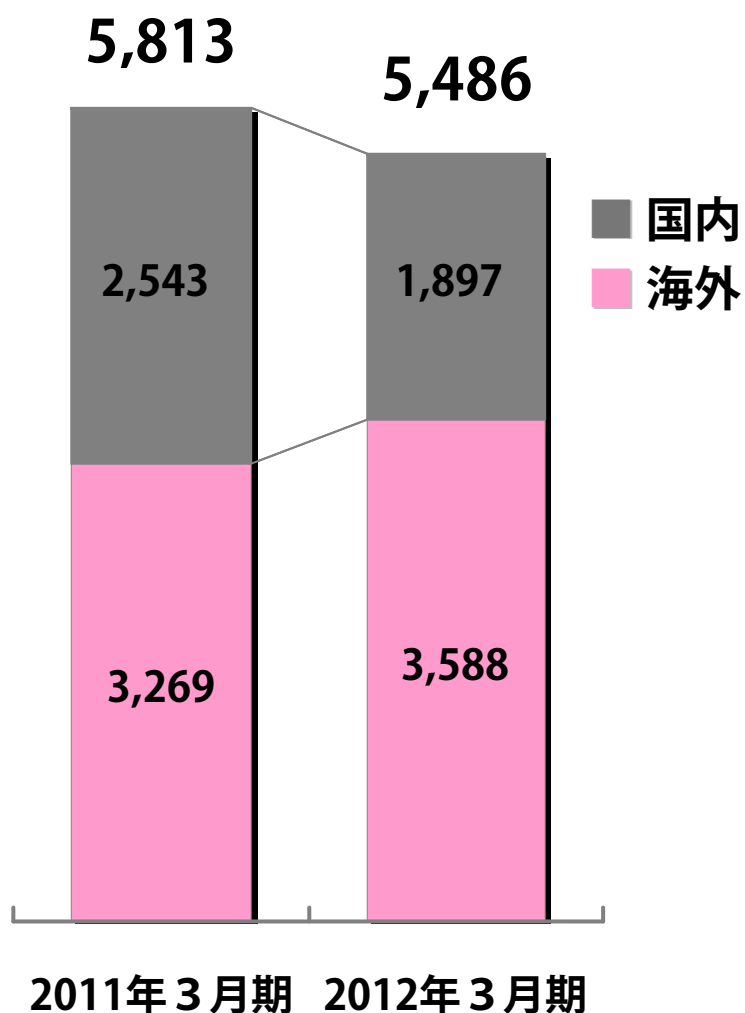
主な減少要因

- スマートフォン向けは価格競争の影響
が響き、前期比▲6.0%
- 車載及びPC・周辺機器向けはタイ洪水の
影響から受注が伸び悩み、前期比▲17.7%

2012年3月期 海外売上高



(百万円)



海外売上高：3,588百万円
(前期比+9.8%)

海外売上高比率：65.4%
(前期比+9.2pt)

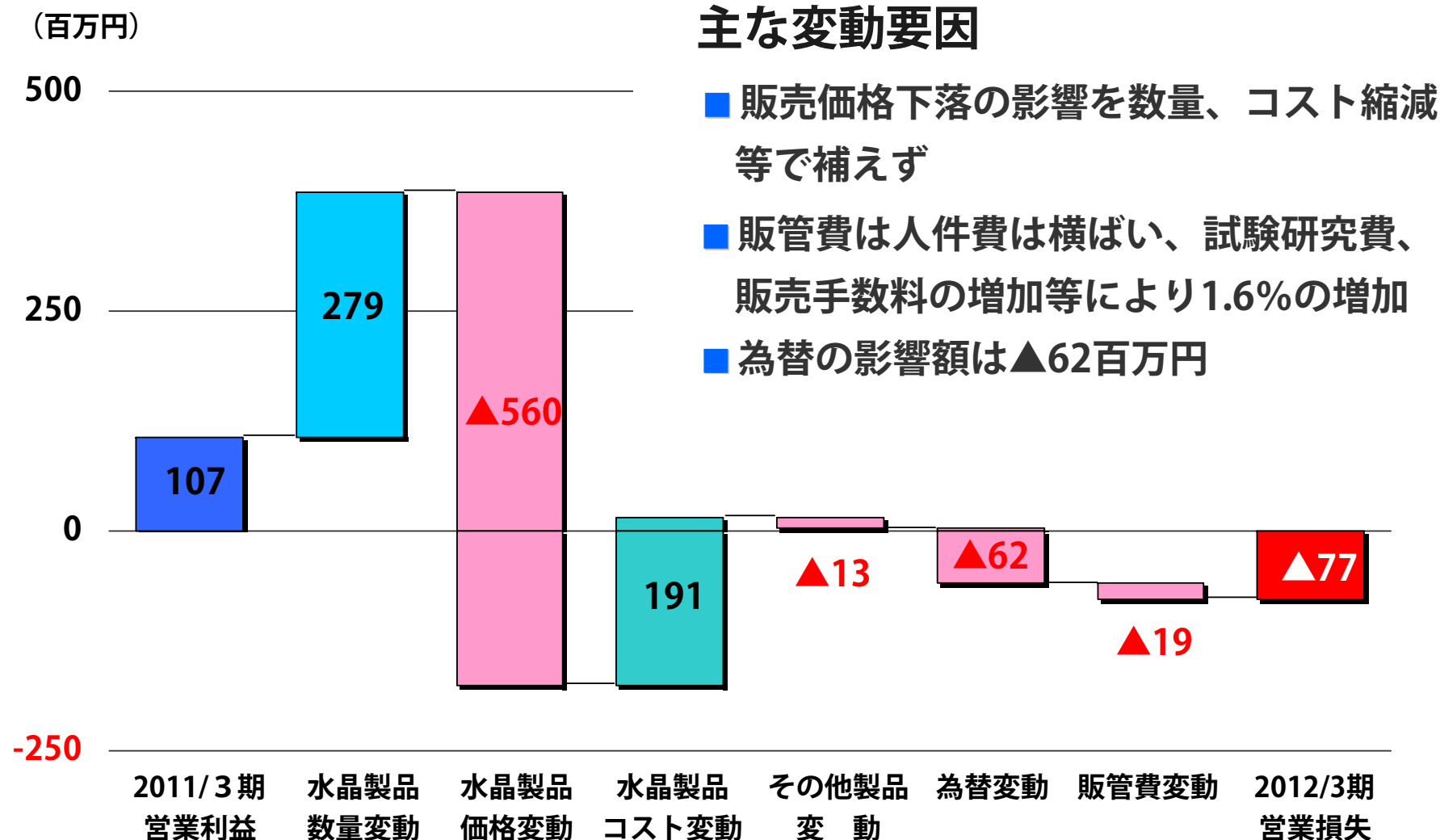
主な変動要因

- スマートフォンのグローバルモデルの受注が好調
- 国内売上高は、国内→海外への生産移管等の影響により前期比▲25.4%

2012年3月期 営業利益変動要因

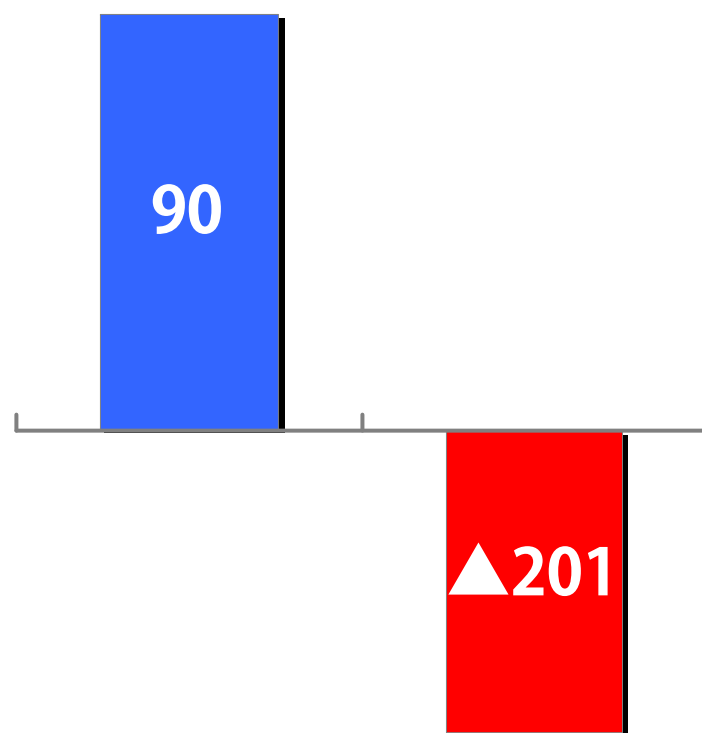
対前年度増減額：▲185百万円

主な変動要因



2012年3月期 当期純利益変動要因

(百万円)



対前年度増減額：▲292百万円

主な変動要因

営業利益増減額 ▲185百万円

営業外収益増減額 ▲30百万円

特別損益増減額 ▲81百万円

特別利益 1.8百万円 (前年度9.1百万円)

■ 固定資産売却益 0.8百万円

■ 環境対策引当金戻入額 0.9百万円

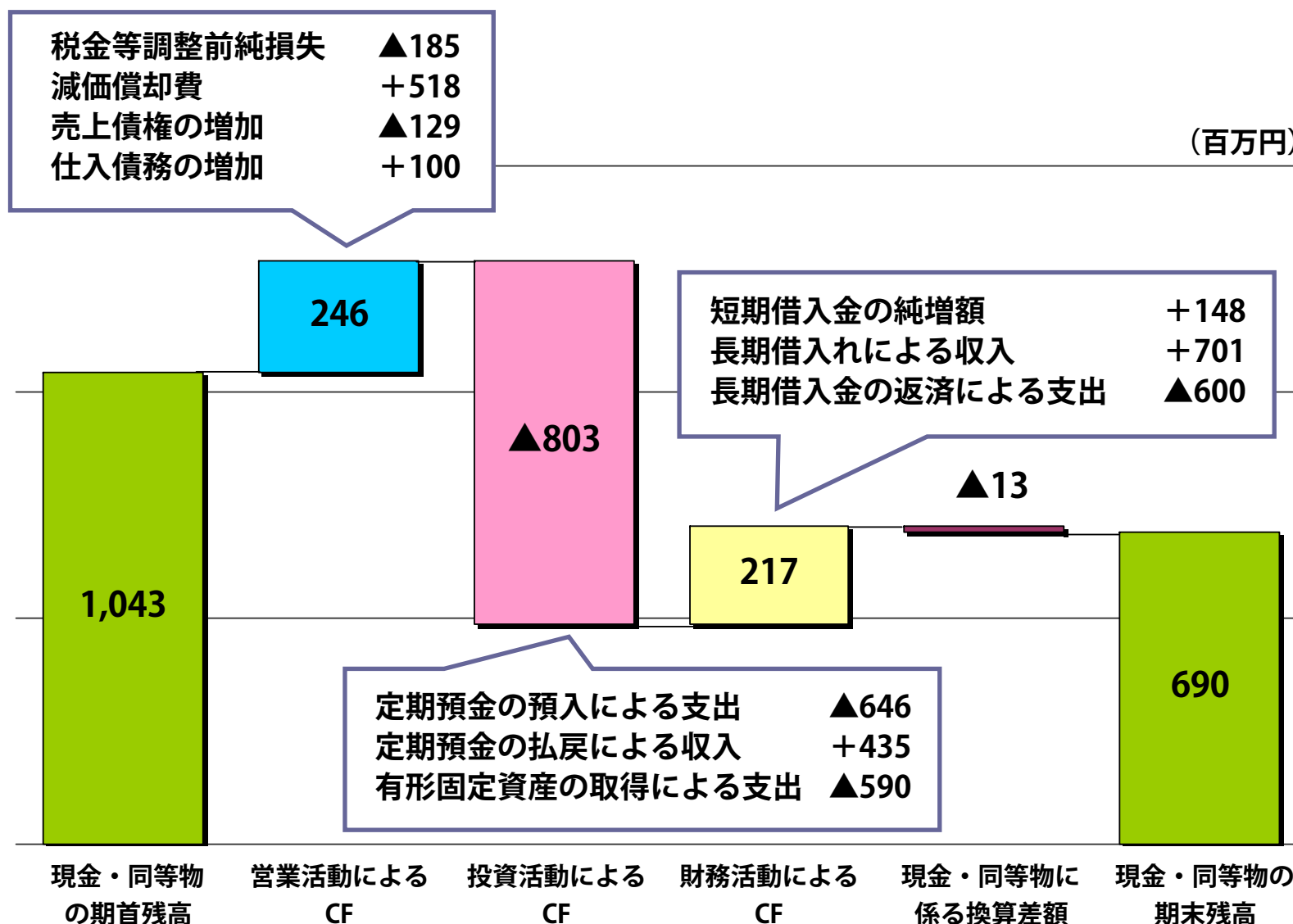
特別損失 81百万円 (前年度10百万円)

■ 投資有価証券評価損 61百万円

■ 長期前払費用償却 10百万円

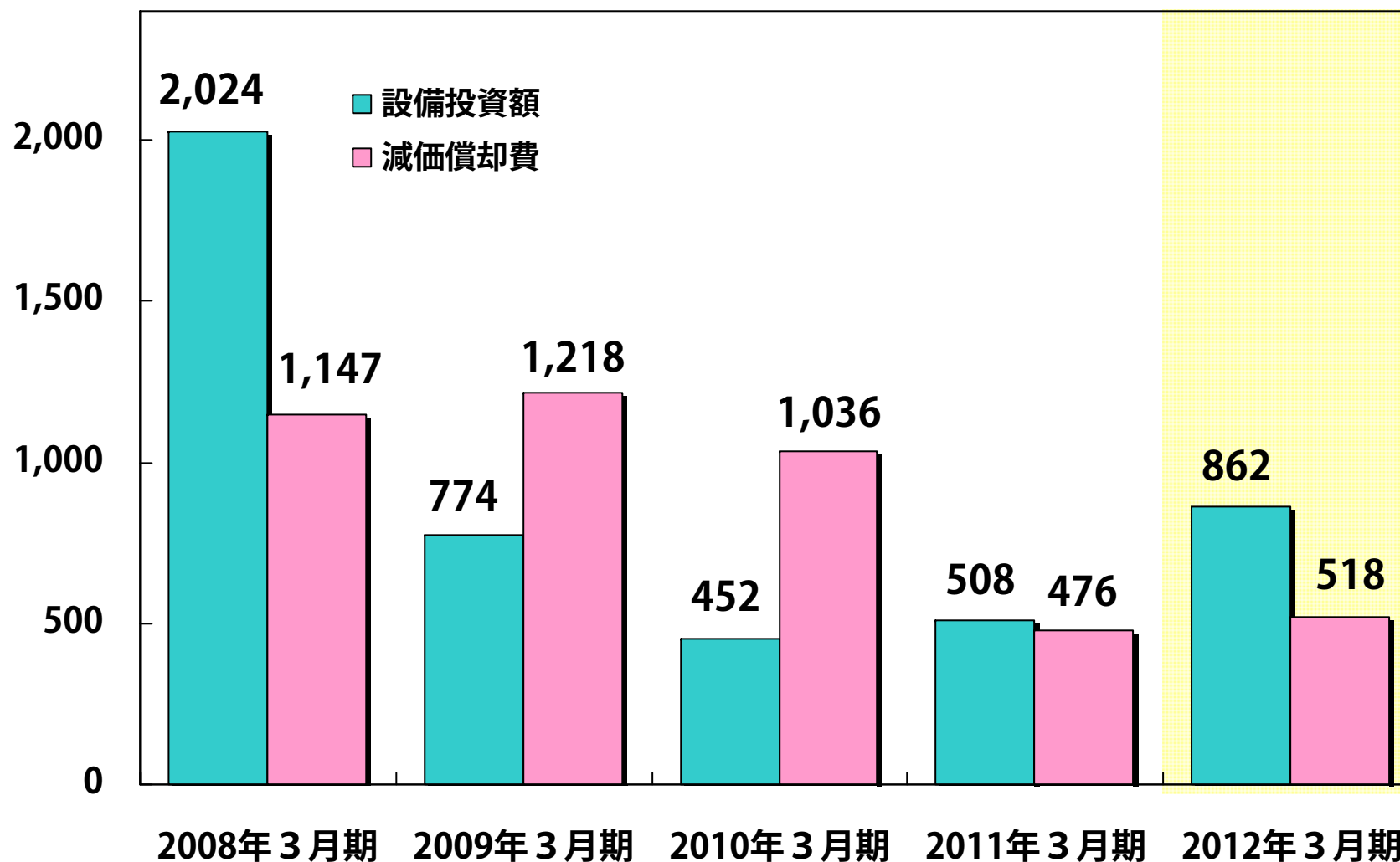
2011年3月期 2012年3月期

2012年3月期 キャッシュフローの状況



2012年3月期 設備投資及び減価償却

(百万円)



アジェンダ

-
- ・ 2012年3月期 決算概要

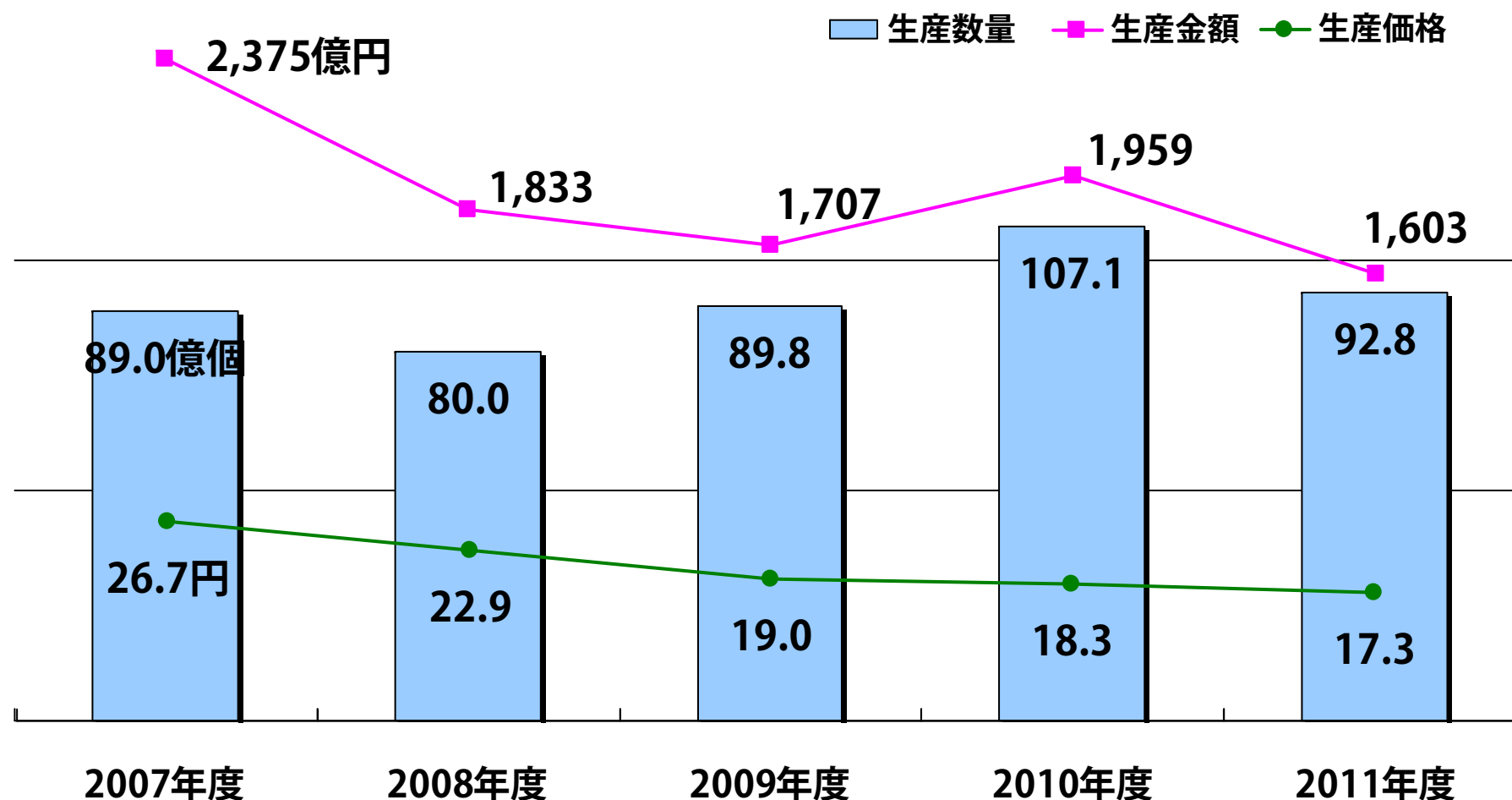
取締役総務本部長
高保 譲治

- ・ 2013年3月期 通期業績予想及び背景

代表取締役社長
若尾 富士男

- ・ 2013年3月期の重点施策
-

水晶製品生産実績 (QIAJ調べ)



生産数量92.8億個 (前期比▲13.3%) / 生産金額1,603億円 (前期比▲18.1%)

(QIAJ統計資料より算出 水晶フィルタ、SAWデバイス、光デバイス、OUT-OUTを除く)

2013年3月期 通期連結業績予想

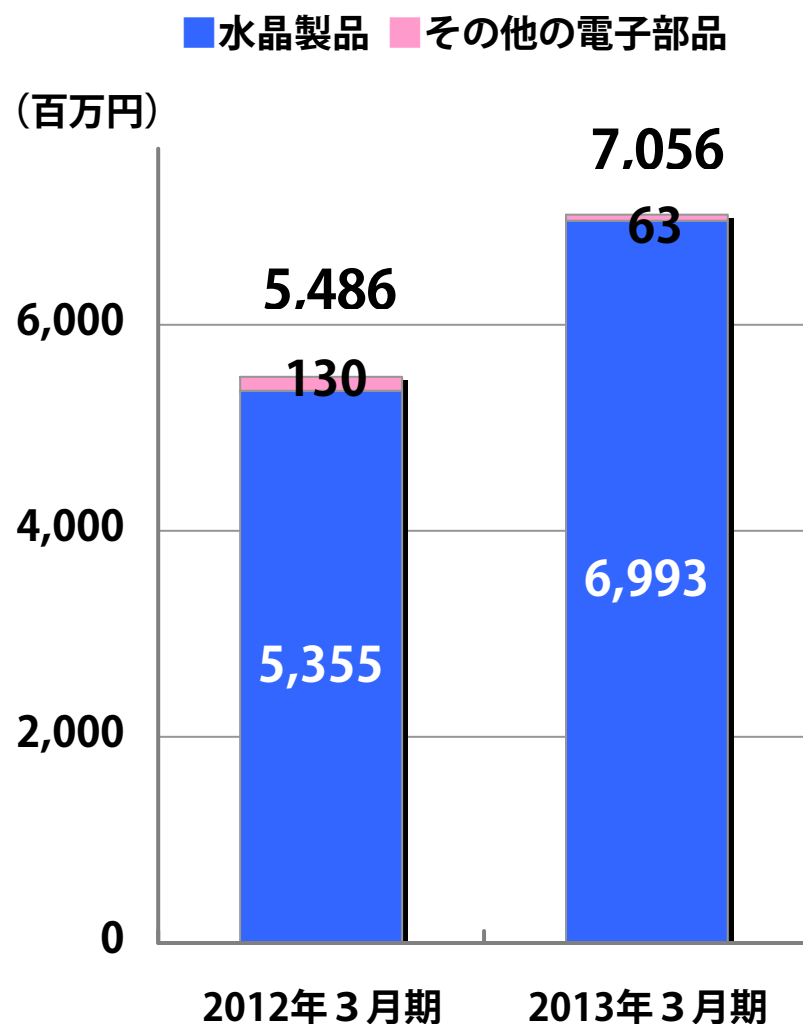


(百万円)	2012年3月期	2013年3月期		
	実績	予想	対前年 増減額	対前年 増減額
売上高	5,486	7,056	1,569	28.6%
営業利益	▲77	55	133	—
経常利益	▲105	66	171	—
当期純利益	▲201	28	229	—
EPS	▲27.33円	3.86円	—	—

為替レート

USドル	77.74円	82.00円	4.26円安	—
------	--------	--------	--------	---

2013年3月期 セグメント別売上高



対前年度増減額： **+1,569百万円**

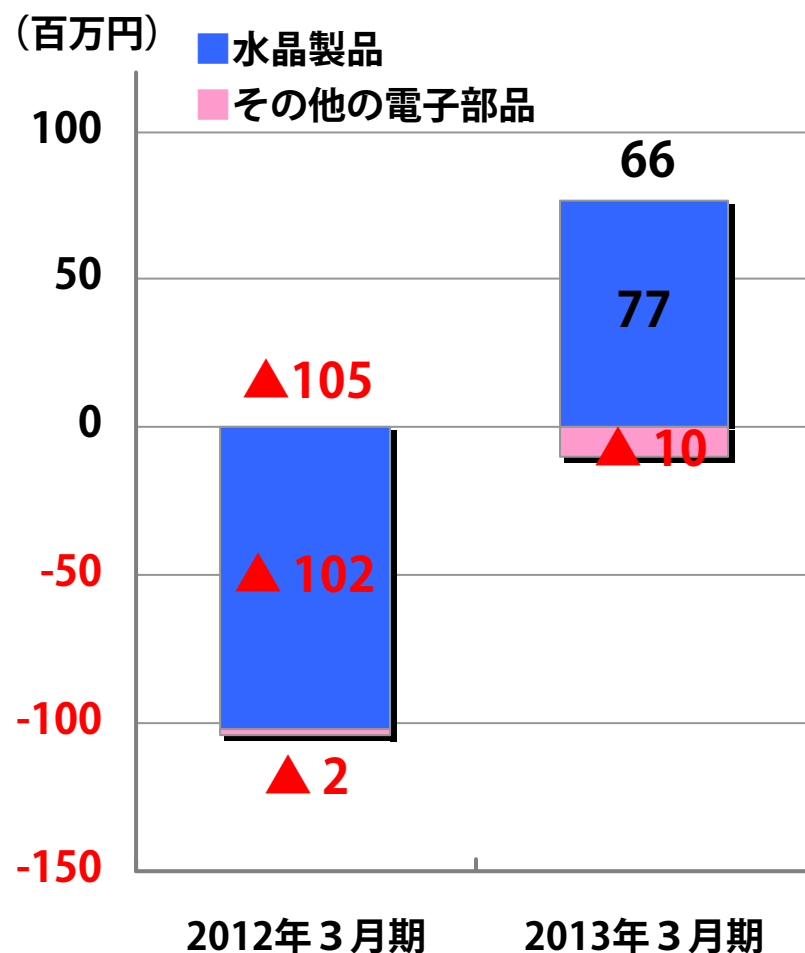
主な増加要因

- 水晶製品/スマートフォン向け
 - 水晶製品/無線モジュール向け
- 受注が大幅に増加すると予想**

主な減少要因

- 水晶製品/車載向け
 - 水晶製品/PC・周辺機器向け
- 価格競争が厳しく、前期比マイナス**
- その他の電子部品は受注半減

2013年3月期 セグメント別利益



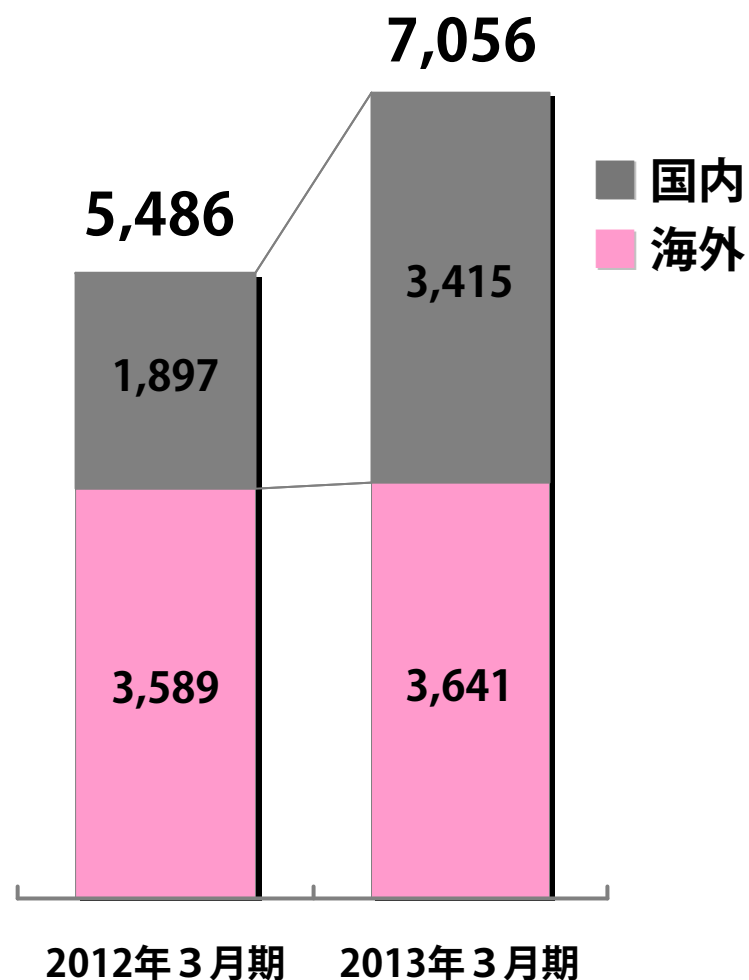
対前年度増減額：**+171百万円**

主な変動要因

- 販売価格下落の影響等で原価率は上昇、販管費も増加（試験研究費、販売手数料等）するも、売上高増で黒字に転換
- 減価償却費は192百万円の増加
- 為替の影響額は+68百万円

2013年3月期 海外売上高

(百万円)



海外売上高：3,641百万円

(前期比+1.5%)

海外売上高比率：51.6%

(前期比▲13.8pt)

2013年3月期 重点施策



全てのステークホルダー
から信頼され、
価値ある会社であり続ける

2013年度目標
売上高：84億円
営業利益率：5%超

アジア地域の営業体制の
再構築と販売網の拡充

海外拠点の体質強化

信頼・品質の向上による
顧客満足の追求

ブランド力の向上

トータルコスト削減の推進

全最適化の視点でコスト削減を推進

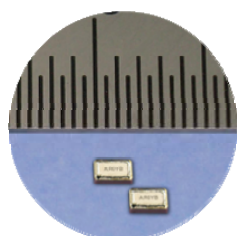
第3次中期経営計画（2011～2013年度）の中間期

アジア地域の営業体制の再構築と販売網の拡充

RIVER
One and Only Creator

成長ドライバー

超小型水晶デバイス



TFX-03

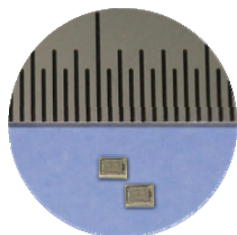
音叉型水晶振動子

TFX-03

2.0mm × 1.2mm × 0.6mm typ.

TFX-03L

2.0mm × 1.2mm × 0.38mm max.



FCX-07

ATカット水晶振動子

FCX-07

1.6mm × 1.2mm × 0.4mm typ.

FCX-07L

1.6mm × 1.2mm × 0.35mm max.

ターゲット分野

スマートフォン

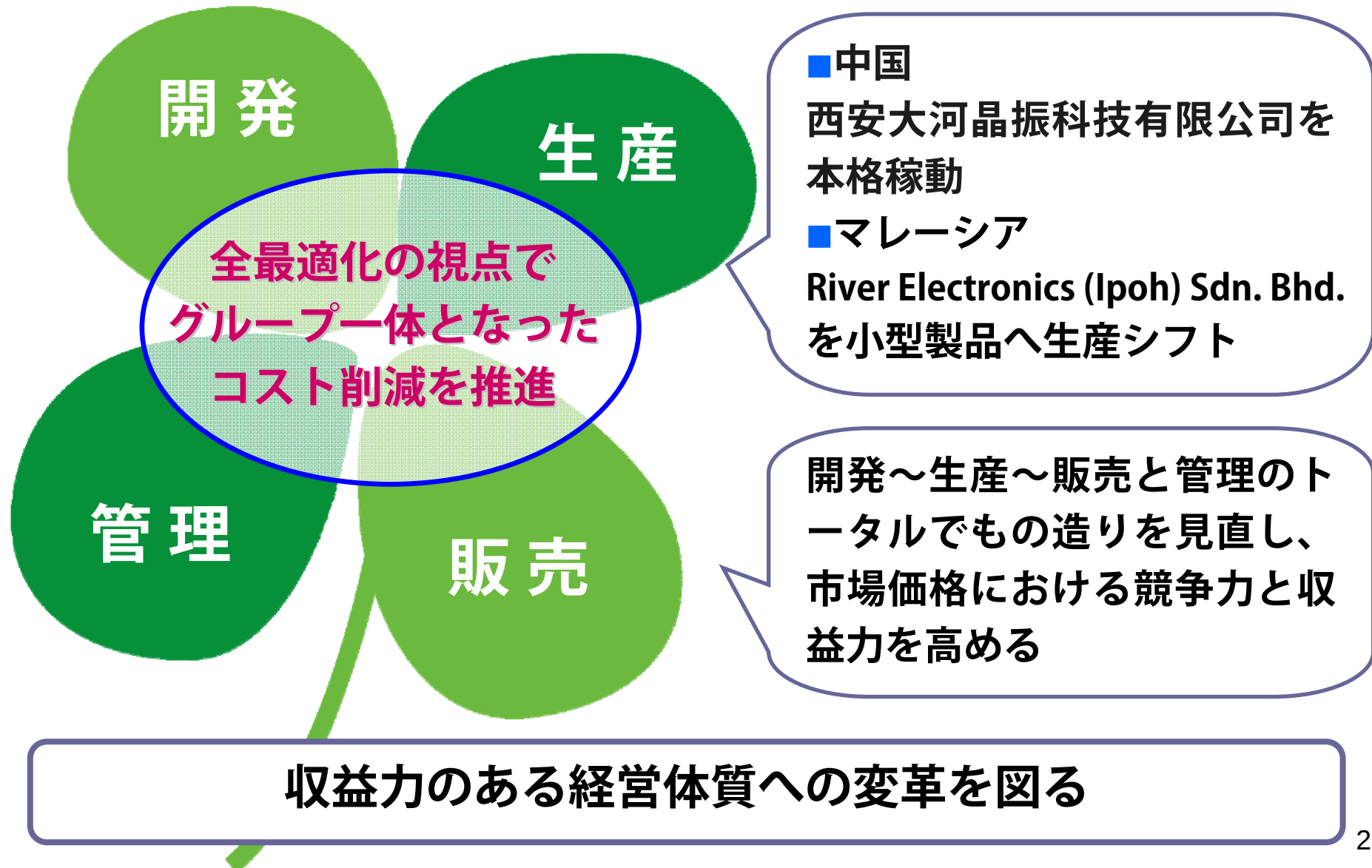


ターゲット地域

中国・台湾・韓国を中心とした
アジア地域

グローバルな事業展開を推進

トータルコスト削減の推進



信頼・品質の向上による顧客満足の追求



信頼・品質のつくり込み

RIVER

開発
設計品質の向上

製造・管理
工程管理の最適化
と継続的改善

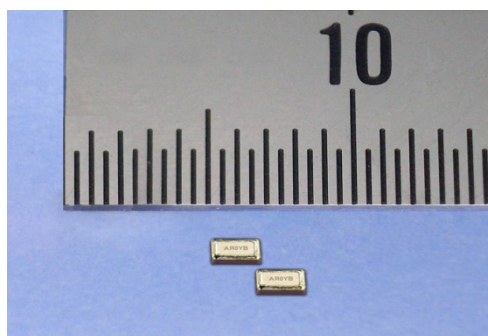
市場・顧客
ニーズ

価値を
創出・提供

リバーブランド力の向上を図る

独自技術による優位性の追求

超小型、薄型でありながら高い品質と信頼性を確保
進化した電子ビーム封止工法により微細加工能力と生産性が向上

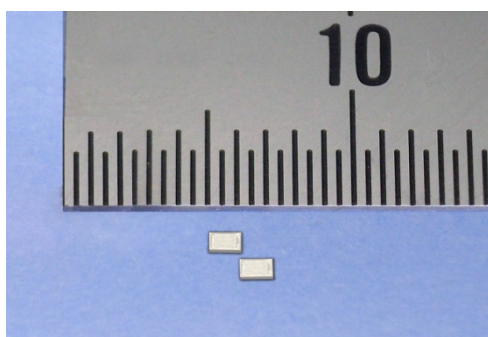


世界最小サイズ
音叉型水晶振動子

TFX-04

1.6mm × 1.0mm × 0.45mm typ.

- サンプル対応中
- 下期に量産開始予定



世界最小サイズ
ATカット水晶振動子

FCX-08

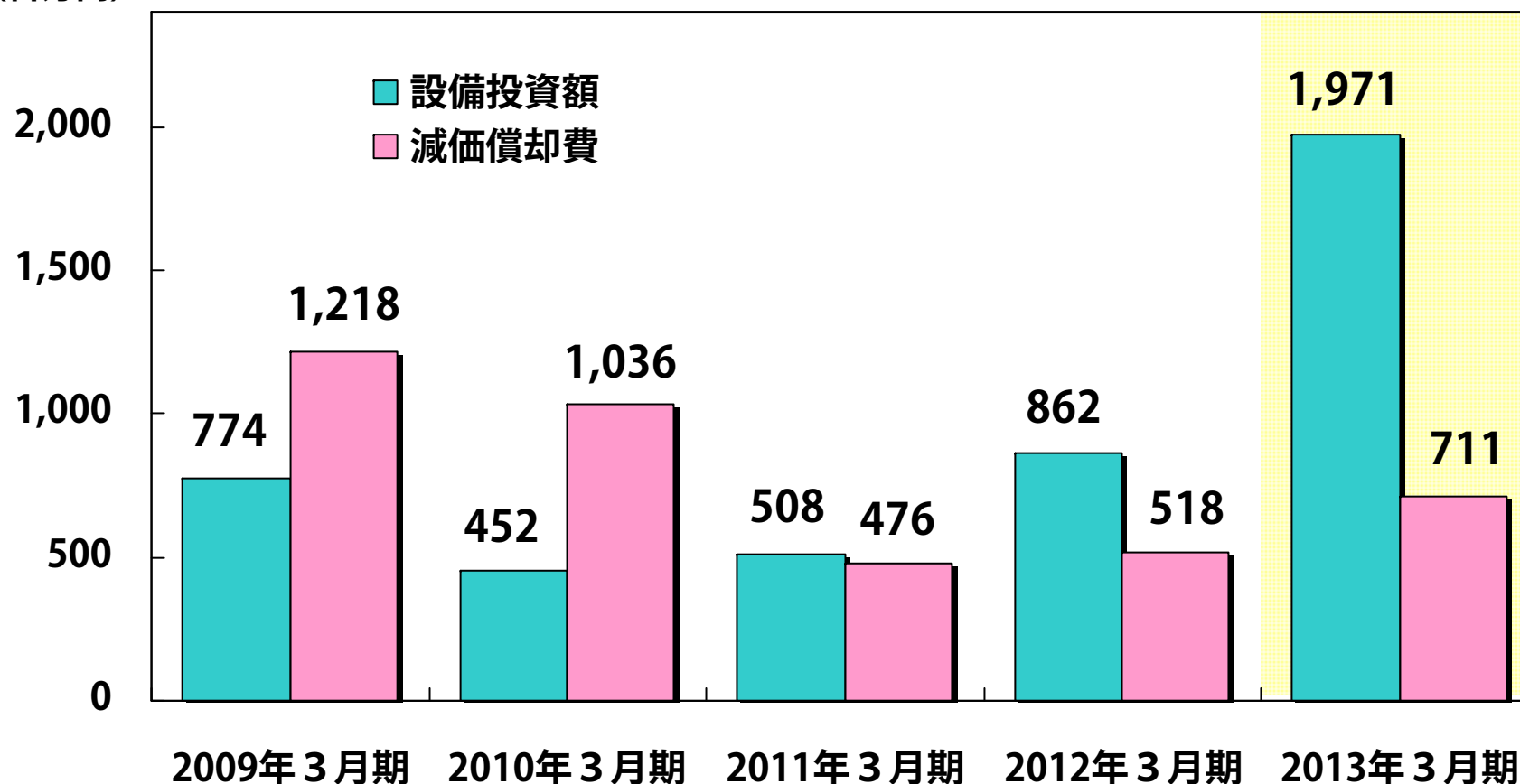
1.2mm × 1.0mm × 0.3mm typ.

- サンプル対応中
- 来期上期中に量産開始予定

独自技術による製品開発で優位性を持った製品を創出

2013年3月期 設備投資及び減価償却

(百万円)



音叉型水晶振動子の生産増強を中心とした投資

- 株主への安定的な配当を継続的に行うことを経営の最重要課題とする
- 連結業績および配当性向等を総合的に勘案した利益還元を行う
- 配当性向は、連結当期純利益の20%を最低の目安
- 企業成長力の強化を目的とした研究開発・生産設備投資や健全な財務体質を維持するために利益の一部を内部留保することも重要な経営課題

	2012年3月期	2013年3月期
EPS	▲27.33円	3.86円
中間配当金	1.00円	1.00円
期末配当金	2.00円	2.00円

《注意事項》

本説明会にて提供した情報につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性がありますことをご承知おき下さい。



リバーエレテック株式会社
(JASDAQ、証券コード6666)
<http://www.river-ele.co.jp/>
総務部経営企画課
TEL 0551 (20) 1277